

査読の御礼

山梨医科学雑誌 27 巻（2012 年）に投稿された論文の査読をお願いした方々です。ご多忙中にもかかわらず、熱心なご査読、誠にありがとうございました。（五十音順、敬称略）

犬飼 岳 史	大野 伸 一	北村 正 敬
桐戸 敬 太	杉田 完 爾	田辺 文 憲
中尾 篤 人	増山 敬 祐	宮澤 恵 二
森石 恆 司		

編集後記

昨今、オープン・アクセスの学術誌が隆盛を極めている。今後どれだけのが生き残るのかは不明ながら、現時点で生命科学系の雑誌数だけでも膨大な数にのぼる。そんな中、この山梨医科学雑誌の存在意義がどこにあるのか、存続させる必要があるのかどうか、編集委員会でもこれまで議論がなされてきた。

山梨医科学雑誌は、言うまでもなくスクール・ジャーナルである。従って、学位論文の「受け皿」としての役割は大きい。しかし現実には、本誌に投稿される原著論文の数は少ない。その理由の一つとして、本学では博士号の授与の要件として「雑誌掲載された論文であること」との規定がないことが挙げられる。学位審査後 1 年以内に雑誌に掲載されるべき、との申し合わせのようなものはあるが、現実には守られないケースも多々ある。

研究は、計画を立て、実験を行い、考察し、論文として纏め、さらに雑誌に掲載されて初めて完結するものである。そこまで完結させて、初めて「博士」の名に値する研究となる。雑誌に掲載されることのない論文で学位を取得する者に、「博士」を標榜する資格はあるのだろうか。そろそろこの辺りで、「雑誌掲載された論文であること」との一文を学位授与の規定に明記してはどうだろう。山梨医科学雑誌の存在意義も、自ずと高まるはずである。

（北村記）

（27 巻 4 号担当：北村正敬、範 江林）

山梨医科学雑誌 第 27 巻 第 4 号

平成 25 年 5 月 15 日

編集・発行 山梨大学医学会
〒 409-3898 山梨県中央市下河東 1110 番地
山梨大学内 Tel. 055-273-1111（内）2242

印刷所 株式会社 東京プレス
〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-18 3F
Tel. 03-5982-9291